

人文学部歴史学科

学位（教育）プログラム名：歴史学

歴史学では、教育理念と学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下のような教育課程を編成している。

1. 1年次には、歴史学の基礎知識と方法論の修得を図るべく「史学概論」、ならびに日本史・東洋史・西洋史・考古学の各「概説」を設置している。さらに、少人数の演習科目である「歴史学入門演習」を設置し、資料の分析や考察、またプレゼンテーションや討論などの基礎教育の学修を行なう。
2. 2年次に、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修いずれかに専門教育の分野を定め、各「原典講読」を通じた文字資料の読解、または「考古学方法論」を通じた考古資料の分析方法を学ぶ。各「基礎演習」では、専門的な歴史学の知識の意味内容を理解し、説明する能力を身に付ける。他方、専修共通科目や関連教育科目の学修によって、広く歴史を考えるための知識を修得する。
3. 3年次・4年次における各「演習」では専門的な技能と思考力をさらに深化させるとともに、自らの力で問題を提起し、分析・考察する能力を養う。また、専修共通科目の各「特講」では、それぞれの専修にとどまらない幅広い視野と深い知識を修得する。
4. 4年次における「卒業論文」では、身に付けた問題発見能力に基づいて各自で研究課題を設定し、専門的な知識と技能を活用して論文を完成させ、4年間の学修到達度を測る。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。